

令和4年度 三木市地域包括支援センター運営協議会 議事録

日 時：令和5年2月24日（金）午後1時30分～

場 所：三木市役所 5階 大会議室

出席者：（委員 順不同、敬称略）

今福恵子委員、池田篤紀委員、大西幹文委員、降松俊基委員、
谷口良毅委員、田中多宏委員、内藤ひとみ委員、角大輔委員、
一番合戦桂子委員、宇仁菅敏行委員、河野陽子委員、藤田豊也委員、
堤 憲昭委員、香月尚美委員、澁谷 昇委員、甲斐功一委員、
原田靖子委員、面川勝治委員、棚瀬加代子委員

（地域包括支援センター）

塚越介 介護保険課副課長兼センター所長（保健師）、黒川主査（社会福祉士）、
真庭主任（保健師）、三木主任（保健師）、三宅主任（社会福祉士）、石井
主任介護支援専門員、宇根主任介護支援専門員

（事務局）

井上健康福祉部長、富依介護保険課長、吉原主事（理学療法士）

1 開 会

2 井上健康福祉部長あいさつ

委員出席報告 19人の全委員が出席にて協議会は成立

3 委員紹介

委員の自己紹介、事務局、地域包括支援センター職員自己紹介

4 委員長・副委員長の選出及び就任のあいさつ

委員長として今福委員、副委員長として池田委員を選出

5 議題

【協議事項】

（1）地域包括支援センターの運営について

- ① 運営方針、運営体制
- ② 自己評価（業務チェックシート）

※質疑応答なし

(2) 地域包括支援センターの事業報告について

- ① 実績報告 ※事前配付
- ② 説明資料（パワーポイント）
- ③ 事前質問に対する回答

※質疑応答なし

- 委員の事前質問①の質疑応答

【委員】

要支援1と要支援2では、何が違うのですか。

【地域包括】

要介護認定というのは、手間(時間)で決まります。

【委員】

要支援1、2では、2の方が軽いですか。

【地域包括】

要支援1の方が軽いです。

【委員】

要支援1、要支援2、要介護1、2、3、4、5と上がっていくといことですね。ありがとうございました。

- 委員の事前質問②の質疑応答

※質疑応答なし

- 委員の事前質問③の質疑応答

【委員】

初期支援ですから認知症かなと困っておられる方の支援なのではないですか。早くそういう方を発見して指導をしていく。なるべく軽い介護で収まる様に初

期の方に対して支援していくチームだと理解していますけれど。

【地域包括】

そのとおりです。

【委員】

それは、包括の認知症の相談のところでされているということですね。どこかの施設に繋げないといけない人が8人いるという理解でいいですか。

【地域包括】

初期集中支援チームの説明をさせていただきます。そもそもこのチームが出来たのは、認知症の初期症状の方に対して早めに対応しましょうというチームだったんです。実際に運用が始まってみると、どちらかと言うと初めて相談した…ファーストタッチと呼んでいるのですが、大分問題が複雑化した中で、やっと相談に繋がったような方の対応が凄く全国的に多くなっています。三木市の場合は、初期の相談の方は包括支援センターで対応させてもらっています。病院になかなか繋がらない、ご家族もおられない、ご家族問題を抱えられている方の対応を初期集中支援チームの方でしている現状があります。

○ 委員の事前質問④の質疑応答

【委員】

体操に行っていたが辞めてしまった、行けなくなったという話をよく聞きます。やはりいくら運動しても年を取れば、行くことができない状態になってしまう。この人ちょっとおかしくなって来たかなという人に対して、対応していく必要があると思います。体操をすることもさることながら皆で集うという事が大事だと思う。そういう中で、この方認知症じゃないだろうかと言う人が辞めなくて済むように、皆でフォローして助け合って、一緒にやっという意味も含めてのみっきい☆いきいき体操だと私は理解しているのです。それにはやはり、体操の参加者が認知症に対する認識・知識を持っていないといけません。そのために、サポーター養成講座等を開いて、体操参加者が認知症への理解を深めることができるよう支援・指導いただきたいと思います。

「間違えたら、どうしたん間違えてばかりやでって言われる」と体操参加者から聞きます。そう言われると行きにくくなります。そう言うことにならないようお願いしたいと思います。もしついて行けないとなれば、次にどうやって支えていくかシステム作りが必要かなと思います。

【健康福祉部長】

貴重なご意見ありがとうございます。今おっしゃられた様な仕組みというのは、本当に必要だなと思います。概要にもある通り現在のいきいき体操をやっている人への認知症についてのご理解を頂けるような仕組み等をどんどん進めていきたいと思っておりますが、またその節にはこのようにしたらどうですかというご意見をいただけたらと思います。

【委員】

今年度の計画の中で出てくるのではないかと考えておりますが、今の活動の体制では手いっぱい、認知症の方の手が回らないと記載されております。手が回らないなら次を育てないとならないとは思っています。

【事務局】

先程言って頂いた通り、辞められてしまった方の対応はこれからの課題だと感じております。認知症サポーター養成講座につきましても、代表者さん自身がまだ知らないというところがあると感じております。今年の3月に教室の代表者会を開催する予定にしておりますが、その中で認知症サポーター養成講座について改めて代表者様にお伝えする機会にしようと思っております。

○ 委員の事前質問⑤の質疑応答

【委員】

今、現在のいきいき体操の三木市内の登録数はどれくらいですか。

【事務局】

現時点では119教室です。

【委員】

119教室から、87名の（サポーターの）登録者数というのはやはり少ないと思います。各グループ最低2、3名はいないと、なかなか運営は活発化していかないかと思っております。サポーター養成講座を開いて頂き、サポーター養成を是非お願いします。だんだんお互いに年を取ってきますのであつと言う間に変ってきます。我が広野コスモスも10年以上にもなるのですが、活発に実践していこうといいますが、サポーターさんが少ないものですからその一歩が踏み出せないということがあります。今後各チームに最低3、4名はいないと先に進めないという様に思います。いい成功例がありましたら教えて頂きたいと思っております。よろしくお願いします。

(3) 令和5年度 包括支援センター事業計画(案)について

【委員】

介護予防というのはどこが担当ですか。

【地域包括】

介護予防事業につきましては、介護保険課の中では、主に介護予防係が担当しています。

【委員】

介護を必要とする方が、年齢を経るにして増えてくるというのは、通常の実態だと思うのです。我々は、それ以前の要支援や要介護にならないようにいかに取り組むかが重要だと思っているんです。その中でみっきい☆いきいき体操の認知が三木市民に伝わっているのか。老人会などの既存の団体や老人連合会等においてどなたかお話されているとは思いますが、もっとみんながわかるような健康的な取り組みをお願いします。たとえば運動もそうですし、生活習慣の問題もそうですし、それから地域の市民が運動に取り組める様な社会教育などとも連携した取り組みをしていただければと思います。

【健康福祉部長】

ありがとうございます。いきいき体操の周知がまだ不十分だということについては、しているつもりになっているのかもしれないので、来年度しっかりと色々な方に対して周知していきます。せっかくのいい事業なので、もっともっとPRをしたいですし、固定しないでもっと若い方も参加していただく。先ほどのようなご質問にもありましたサポーターの育成をしながら啓発をしていきたいと思えます。要介護、要支援とかにならないのが一番大事です。この10月から健康アプリを使って、皆さんに血圧、体温、歩数等を登録してもらう様なサービスも始めさせていただいています。来年度になりますが、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施ということで、まずは三木の3つの圏域の内の細川、口吉川、吉川の第三圏域に重点的に、保健師・管理栄養士などいろんな方が入って行って、医療と介護予防についても進めていきたいと考えます。もちろん包括は包括で活動していますが、皆さんが健康で、高齢になっても地域でいきいきと暮らせるというのが一番大事なので、そこに向けて様々なアプローチで取り組んでいきたいと思えます。

【委員】

先程の報告の中でマンパワーが不足しているという事ですが、こういう計画が推進されますようにマンパワーと共に、色々ご計画があろうとは思いますが、よろしくお願ひします。

【健康福祉部長】

ありがとうございます。皆様おっしゃいますが、三木市もマンパワーが正直不足しております。確保する為の努力はいろんな形で努めているつもりですが、他の事業所さんもお困りになっているのではないかなと思っています。以前は、市役所に非常勤と言う形で勤めていただける方については、広報やホームページに求人募集案内を出したら手を挙げてくださる方がいましたが、最近は全くなく、民間の求人広告に出してもなかなか見つかりません。三木市役所だけでなく、小野の市役所であったり、加西の市役所であったり、いろんな病院さんであったり、どこも同じ様な職種の人達を探しています。なんとか人材確保の努力を今後も続けていきたいと思ひます。

【委員】

この計画自身は予防も一緒になっていますよね。そういう中で意欲的なケースワーカーもいますし、社協さんもあります。マンパワーは外から入れるばかりで無く、工夫をよろしくお願ひしたいということです。

【報告事項】

(1) 会計報告

- ① 令和3年度 地域包括支援センター会計決算
- ② 令和4年度 地域包括支援センター会計予算

※質疑応答なし

6 その他

【三木市歯科医師会】

三木市歯科医師会です。次年度から三木市歯科医師会では、オーラルフレイルに力を入れていきたいと考えます。フレイルに対する予防事業など、市と一緒に出来たらと思っています。マンパワーの不足についても、衛生士会の協力や、市の協力とかもいただければ。フレイルからどんどん衰えていく方を事前に予防するか、それ以上進まないように口腔のほうもいつまでも自分で食べていける様にやっていきたいと思えます。ご協力よろしくお願ひします。

【事務局】

介護保険課と健康増進課、そして医療保険課、各保健師、理学療法士等連携しまして、このフレイル対策の強化に令和5年度より取り組んでまいります。これまでの体操や転倒予防以外にも栄養面、低栄養の方であったり、口腔ケア、口腔の低下の予防の強化、こちらも重点的に取り組みます。部長からの説明もありましたが、三圏域の中から、特に吉川、口吉川、細川等の方面から順次行っていく形としております。また、衛生士会、歯科医師会の方も併せてお願ひします。

介護予防講座や地域の介護予防教室等で現在も周知しているところではありますが、社会教育の観点や区長協議会の観点からも、知って頂くという事が第一かと思えます。再度課内におきまして、周知の方法について改めて協議を行って参りたいと思えますので、引き続きよろしくお願ひします。

7 閉 会 副委員長あいさつ